

私の考える将来

門川高等学校 二年 塩塚 彩乃

私はこれまで門川町で過ごしてきました。ここ門川町は私にとって「ふるさと」でありとても大切な場所です。この大切なふるさとと将来の夢について述べていきたいと思えます。

私が現在目指す将来の夢は理学療法士です。私は中学生の頃までは看護師という夢を持っていました。理由としては、母親が看護師、父が介護職という環境の中で育ち、人と関わり、人を助けるような職に就きたいという気持ちになっていったからです。そのため、中学校の職場体験では迷わず病院を選びました。職場体験では外来や病棟などを案内してもらいました。その中でも私が一番印象に残ったのがリハビリ室でした。そこには様々な機械が置いてありました。例えば電気治療器具やウォーキングマシンなどです。私はこのような機械の体験をして「私もこのような機械を使えるようになりたい」と思いました。この時から理学療法士になるという夢を持ち始めました。そして、その夢を叶えるために必要になるであろう福祉について学べる門川高等学校の福祉科に入学しました。

これまで学習してきた内容としては、介護に関する学び、コミュニケーションや車椅子介助などの実践介助、本来は行けるはずがコロナの影響で行けなくなった実習を変更した校内実習がありました。この中で私が一番印象に残っている内容は校内実習です。施設に行けない私

たちのために福祉科の先生たちが様々な計画を立ててくださり、福祉関係の外部の方の講話や介護技術についてのDVD視聴、少しの時間ですが施設に行き、施設内見学や掃除をさせていただくなど、校内実習でしかできない活動を行うことができました。特に、外部の方の講話では、福祉関係の職業の話聞くことがあり、理学療法士、作業療法士、社会福祉士の方のお話を聞きました。私は理学療法士の仕事内容はある程度把握していたのですが、より詳しく知ることができました。作業療法士、社会福祉士の仕事の内容は全くというほど知らなかったもので、大変為になり、良い学びとなりました。この講話を聞き、理学療法士になりたいという夢に近づきました。

また私は、福祉について学ぶために、夏休みのアルバイトを介護施設で行いました。施設は介護付き有料老人ホームで、母が勤めている施設でした。そこでは様々な症状を持つ利用者の方々が居て、授業で学び、耳で聞いて頭で想像していた寝たきりの方や認知症の方を初めて見て、大きな刺激を受けました。認知症の方とのコミュニケーションは初めてで、アルバイト最終日に、何回もコミュニケーションを行った利用者の方に「あなたは誰？何の人？」と言われて驚きました。認知症の症状として記憶の障害があると知っていたのですが、悲しいと感じました。また、コミュニケーションだけでなく、嚥下機能がしっかりしている人の食事介助、入浴介助、配膳・配茶などもさせていただきました。このような体験をすることにより、福祉について知ることができるようになりました。もちろんのこと、将来病院に勤めるか、施設に勤めるか

を考える良い機会となりました。

私は、高校を卒業した後は宮崎県内の専門学校への進学を考えています。そのために、日頃から地道に勉強を頑張っています。しかし、私の現在の勉強量では、福祉教科の勉強以外があまりできていない状況です。これからは普通教科を増やすことができるように上手く時間を使い、検定にも挑戦をしていきたいと考えています。また、コロナの影響でボランティアが中々出来ない状況でした。これから少しでも多くの検定やボランティアにチャレンジしたいと思います。

私の現在の成績は、上位につくことができているので、引き続きこの成績を維持できるように努力します。ただし、テスト勉強の内容が短期記憶にとどまり、すぐに忘れてしまわないように、テストが終わったらその範囲の勉強を終わりにするのではなく、振り返りを定期的に行いたいと考えています。

そして、専門学校卒業後には、門川町から出て、最新の医療設備が充実している病院へ勤めたいと思っています。理由は、若い時にたくさん刺激を受けたいからです。若い時の方が記憶力が高いので、その時に、様々な症状の患者さんと触れ合い、知識量を増やし、対応力を培っていききたいと思っています。十分な知識を得たら、ふるさとである門川町に戻ってこようと考えています。門川町で理学療法士として働くことが目標です。病院に勤めるのか、施設に勤めるのかはこれから考えていきます。引き続き病院で勤めるのもいいし、高校の時にたくさん勉強をした介護施設で働くという選択肢もあります。

その場合は、通所介護を行っている施設に勤めたいと思います。通所介護とは、デイサービスとも言われており、要介護状態にある高齢者が通い、入浴・排泄・食事等の介護、機能訓練を日帰りで行うサービスのことです。レクリエーションなどもあり、勤める日が来るのが楽しみです。

門川町で働くことで、これまで育ってきた環境への恩返しをすることができると思います。門川町は、食べ物新鮮でおいしく、食べることが好きな私にはとても嬉しい町です。また、カムリウミスズメのような絶滅危惧種もいます。カムリウミスズメについては小学三年生の時にたくさん勉強してきました。先生からの説明や、グループを作り自分たちでカムリウミスズメについて調べて発表するなどをして、どんな環境で生まれ、どのように海へ行くのかということを学びました。ヒナがどれだけ海へ行くことが困難なとかというのもよくわかります。それほどすごい鳥です。小学生の頃から門川町に関する学びを得ることができるといいことだと思っています。記憶に残り、身近なものに感じるからです。そして、門川町は人が温かく、小さい頃は地域の人に良くしてもらった思い出があります。このような良い所がたくさんある門川町に少しでも将来、貢献できるようにしたいと思います。